

富山大学附属病院 放射線部の紹介

富山大学は、標高 3,000 メートルの立山連峰と水深 1,000 メートルの海湾を望む、緑豊かな富山平野の中央部に位置する。この高度差 4,000 メートルもの空間における「水の大循環」は、多様な生態系を育み、固有の文化と地域に根ざした様々な産業を育て、富山大学の発展と有為な人材の育成を支える基盤となっている。(富山大学 HP より引用)

【施設紹介】

1979 年 10 月に全国で唯一、医学部と薬学部からなる国立富山医科薬科大学の附属病院として、富山県を中央で東西に分ける呉羽丘陵(大学設置時に杉谷古墳群発掘調査が行われた)に開設し、43 年余の歴史を持ちます。2005 年 10 月には 3 大学(旧富山大学・富山医科薬科大学・高岡短期大学)統合により、富山大学附属病院として生まれ変わりました。富山県及びその周辺地域の医療における最後の砦として、現在も地域の医療施設との連携を深めながら、住民のための保健・医療活動を担っています。また、江戸時代から続く「くすりの富山」の伝統を受け継ぎ、生薬の効能に関する研究も盛んで、本院も協同で和漢薬の治験に力を入れています。臨床部門は 40 の診療科をはじめ、33 の中央診療施設(臨床腫瘍部、検査・輸血細胞治療部、手術部、放射線部等)や、病棟(再整備により、東、西病棟から南、北病棟へ増改築、各 2 階~7 階、計 612 床)から構成されています。



弥生時代の古墳が点在する富山大学
杉谷キャンパスと附属病院

【組織・人員管理体制】

放射線部には常勤の診療放射線技師 37 名が在籍しており、診療放射線技師長を筆頭に 4 名の副診療放射線技師長、8 名の主任診療放射線技師が中心となって組織運営・業務管理を行っています。37 名中 30 名(約 80%)が 40 歳未満で、若いパワーで勢いが溢れる組織であり、特に 11 名の女性技師はジェンダー平等実現にその役割が増しています。限られた人的資源の活用効率を上げるため、配置は機動的配置(ショートストップ体制:S.S.体制)を採っています。部内組織は一般撮影部門、血管撮影部門、手術室部門、CT 部門、MRI 部門、放射線治療部門、核医学部門の 7 部門から構成されており、各部門に責任者(主任)・副責任者を置き、若きリーダーが中心となり日々の診療や管理業務を行うことで人材育成にも積極的に取り組んでいます。また、放射線技師全員が部内委員会(放射線管理、広報、医療安全・感染対策、サービス環境、医療情報、装置品質管理、教育・研修、研究支援・記録)に配属され、それぞれの分野で部内運営に直接貢献できるシステムとなっています。

【新人教育と若手人材育成】

入職した放射線技師は 6 か月間の新人教育プログラムに沿ってメンター制度を採り入れた教育を行います。このプログラムの達成目標は、時間外診療業務が行えるスキルと知識を身につけることです。習熟度の確認は教育委員会が中心となり、各部門の責任者・副責任者と連携しながら行っています。また、スキルモラルクラウドシステムを当院の仕様にアレンジしたチェックシートを用いて、教育進捗状況の確認を定期的に行っています。

新人教育プログラムを修了した後、ローテータの教育に移ります。この目標は 3 部門の担当ができる技師に養成することです。年度初めに計画を立案し、それに沿って育成し、部門責任者・副責任者を中心に教育期間終了の可否について判断します。放射線部では 24 時間体制で高度先進医療が支援できるよう 2 名の技師が自宅待機している為、IVR・ハイブリッド OR、オペ室等に対応できる技師の育成が急務の課題となっています。

【装置設備】

● アーム型 X 線 CT 診断装置 (セファロ、3 次元 X 線断層撮影可能)	1 台
● 一般 X 線撮影装置	4 台
● 乳房撮影装置	2 台
● 一体型回診用 X 線撮影装置	5 台
● 汎用回診用 X 線撮影装置	3 台
● X 線骨密度診断測定装置	1 台
● C アーム型 X 線透視撮影装置	1 台
● 汎用型 X 線透視撮影装置	2 台
● 泌尿器・生殖器用 X 線透視撮影装置	1 台
● バイプレーン循環器血管撮影装置	2 台
● 汎用型血管撮影装置	2 台
● バイプレーン血管撮影装置 (ハイブリッド手術室)	1 台
● 外科用移動型 X 線撮影装置	5 台
● 診断用 X 線 CT 装置 : 2 管球搭載型超高速 CT、高速 CT、汎用 CT	3 台
● MRI 装置 : 3T、1.5T (2 台)	3 台
● PET/CT	1 台
● SPECT/CT	1 台
● SPECT	2 台
● 汎用型放射線治療装置 (医療用直線加速器)	1 台
● 画像誘導型強度変調放射線治療装置	1 台
● 腔内照射装置	1 台
● 放射性同位元素内用療法治療室	3 室

【専門・認定技師等(一部抜粋)】

- 第1種放射線取扱主任者 8名
- 医学物理士 2名
- 検診マンモグラフィ撮影認定技師 7名
- 血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 4名
- X線CT認定技師 11名
- 磁気共鳴専門技術者 4名
- 核医学専門技師 3名
- 救急撮影認定技師 2名
- 医療情報技師 3名

【令和3年度実績】

区分 Classification	撮影及び透視 Number of Radiography and Fluoroscopy				CT	MRI	PET CT	骨密度 Bone Densitometry
	撮影 Number of Radiography	透視 Number of Fluoroscopy	血管造影 Augiography	心カテ Cardiac Catheterization				
計 Total	71,767	3,817	897	1,439	26,847	11,114	1,647	1,389
入院 Inpatients	27,717	3,182	808	1,407	8,238	2,835	41	275
外来 Outpatients	44,050	635	89	32	18,609	8,279	1,606	1,114

区分 Classification		患者数 Patients			件数(延件数) Total		
		入院 Inpatients	外来 Outpatients	計 Total	入院 Inpatients	外来 Outpatients	計 Total
計 Total		527	556	1,083	4,644	5,266	9,910
放射線治療 Radiotherapy	小計 Subtotal	305	330	635	4,366	4,998	9,364
	外部照射治療 External Beam Radiation Therapy	213	221	434	2,868	3,006	5,874
	強度変調放射線治療(IMRT) Intensity-Modulated Radiation Therapy(IMRT)	65	86	151	1,337	1,865	3,202
	定位放射線治療(STI) Stereotactic Irradiation	18	18	36	129	112	241
	遠隔操作式密封小線源治療 Remote Control-Style Brachytherapy	9	5	14	32	15	47
治療計画 Treatment Planning	小計 Subtotal	222	226	448	278	268	546
	外部照射治療 External Beam Radiation Therapy	213	221	434	246	253	499
	遠隔操作式密封小線源治療 Remote Control-Style Brachytherapy	9	5	14	32	15	47

富山大学附属病院は、富山県周辺地域住民が地方に居ながら安心して高度先進医療の恩恵が受けられる地域医療最後の砦としての役割を期待されています。そこに勤務する診療放射線技師は高度先端医療を支援できることに照于一隅の責任と矜持を持ち、日々進化する放射線医療技術に後塵を拝することがないよう自己研鑽を継続し、時には県内外の技師との情報交換を図りながら診療放射線技術を提供し続けています。